

太陽光発電・売電の新会社

香川県の企業4社が太陽光発電開拓の事業を手がける香川県の企業4社などが、県内に太陽光発電所を設置して売電する専門の会社を高松市に設立したと発表した。再生可能エネルギーの全量買い取り制度が始まったことを受け、地元企業による事業普及を目指す。

4社は電気工事などを手がける電工社エンジニアリング（高松市）や配電盤製作のヒロゼー（三豊市）など。社名は「うどん県電力」。資本金は1000万円で2日に登記したとい

同社は耕作放棄地など有効活用されていない土地に小規模な太陽光発電所を設置するという。発電した電力は7月に始まった全量買取り制度に基づいて売電する。第1弾として、高松市国分寺の山林に約2億円をかけて約6000平方㍍の太陽光パネルを設置する予定。

(高松)

日経産業新聞全国版2012.07.10朝刊